



TONYKART RACING TEAM JAPAN

レースレポート

2015オートボックス全日本カート選手権
KF第3戦&第4戦
開催場所：フェスティカサーキット瑞浪
開催日：6月27日～28日
参加台数：23台
天候：晴れ 路面状況：ドライ



■全日本第2ラウンドはT. T. での遅れが致命傷となった・・・。

約2月半のインターバルを空けての第2ラウンドは岐阜県の「フェスティカサーキット瑞浪」にて開催された。金曜日は終日レインコンディションとなってしまった為、各社若干のテスト不足の状態です。土曜日のタイムトライアルへと挑んだ。そのタイムトライアルで我々は上位を狙いセッティングを施したがそれが裏目に出てしまい、15位・17位と後方に沈んでしまった。この結果が後のヒートへと大きく響き非常に厳しい週末となってしまった。

■第3戦決勝（晴れ/ドライ） #7大湯都史樹：11位 #24高橋悠之：DNF

午前中に行われた第3戦の決勝は6番手からスタートした#7大湯がオープニングラップで4位に上がると、序盤9周目まで4位を走行。しかし中盤以降は周りのペースアップについて行く事が出来ず、後退…。26周後のチェッカーを11位で迎えた。#24高橋はペースも悪くなく健闘をしていたが、11周目にトラブルが発生しストップ。リタイヤとなってしまった。



■第4戦決勝（晴れ/ドライ） #7大湯都史樹：11位 #24高橋悠之：8位

大きな混乱もなくスタートとオープニングラップを終えた各車。#7大湯・#24高橋は12位・13位辺りを走行していた。ペースも悪くはないが、トップから殆どの選手が同じようなペースで走行している為、なかなかポジションを上げる事が出来ない。そんなレース展開の中でも相手のミスなどを上手く利用して若干ポジションを上げてチェッカーを受けた。タイムトライアルで下位に沈まなかったら…。と悔やまれる内容のレースだった。



■大湯都史樹のコメント

「木曜日の練習走行からレースまで、車のセッティングや自分の走りも含め全ての面で上手くいかないレースウィークとなりました。レースがあつという間に終わってしまい、レース後の今となってはやり場のない悔しさで一杯です。この気持ちを次のレースでぶつけて優勝を目指し努力していきたいと思います。TONY KART JAPAN 様、BRIDGESTONE 様、NGK 様、他御協賛各社様、応援してくださった皆様ありがとうございました。」

■高橋悠之のコメント

「瑞浪のコースはあまり得意ではなくかなり苦戦したレースウィークでした。練習の時から調子が良くなく、レースが始まってセッティングやライン取りを煮詰める事が出来ませんでした。結果は惨敗でしたがその中でも良いセッティング、いいライン取りをわずかながら見つけることができたので次からのレースに活かしたいです。応援よろしくをお願いします。」

■松浦監督のコメント

「今回のレースはドライバーに非常に申し訳ない。タイムトライアルで施したセッティングが大きく外れてしまい、この僅差で戦っているレースではポジションアップが非常に難しい状況でした。今回のデータを見直し、次戦の茂原大会ではドライバーが満足出来る状態のマシンを準備してあげたい。」

